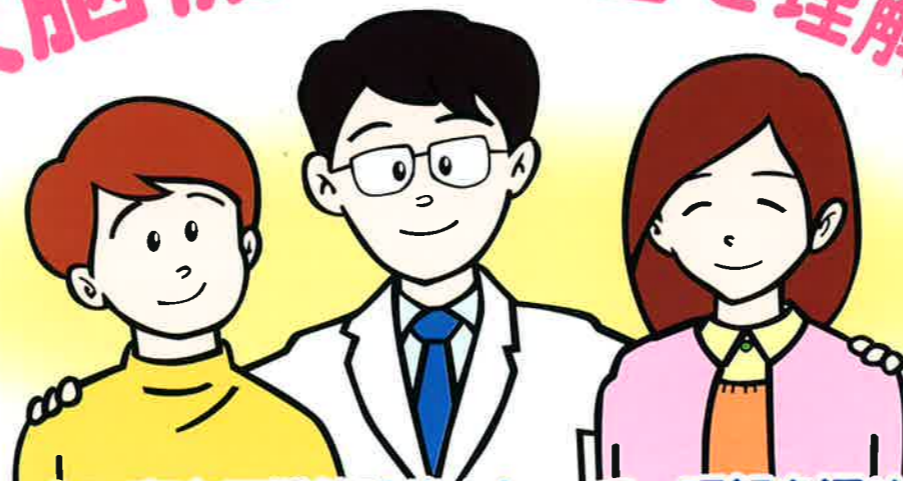


高次脳機能障害を理解しよう



より多くの方に高次脳機能障害を知って、理解を深めてほしい

『高次脳機能障害』とは病気や事故などで脳に損傷を受けた場合に起こる後遺症のひとつです。主な原因としては、以下があげられます。

- 原因となる主な疾患
- ① 脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）
 - ② 脳外傷（交通事故などにより、頭部を打撲し、脳が傷つけられた状態）
 - ③ 脳炎・脳症（ヘルペス脳炎、低酸素脳症など）

以上のような病気や事故による入院、退院後に、家庭や職場に戻ってから、対人関係や社会生活において障害があることに気付かれることが多く、外見からはわかりにくい障害であり、「見えない障害」ともいわれています。

記憶や注意、言語などの認知機能に障害がおき、そのために生活に支障をきたしてしまいます。主に症状としては、以下があげられます。

記憶障害

新しいことを覚えられなくなったり、以前のことを思い出せなくなったりします。



- ついさっき自分がしたことを忘れてしまう
- 昔のことを思い出せない
- 日付や自分のいる場所がわからない
- 約束をすぐ忘れてしまう
- 何度も同じ質問を繰り返す

注意障害

物事に集中できなかったり、まわりのことが気になったり、気が散りやすくなったりします。



- いつもぼんやりとしている
- ひとつのことを長く続けることができない
- 仕事をするときミスが多い
- ふたつのことを同時にやろうとすると混乱する

社会的行動障害

依存的になり、感情や行動を自分で調整することが難しくなります。



- 些細なことで怒りだす
- 人の気持ちをうまく察することができない
- 欲求が抑えられない
- ちょっとしたことにとひどくこだわる
- 意欲が低下したり、物事に無関心になる

遂行機能障害

目標を決めて、計画を立てて実行し、要領良く行動することが困難になります。



- 優先順位が決められない
- 見通しを立てて行動することができない
- 行き当たりばったりの行動をとる
- ひとつひとつ指示されないと行動に移せない

【行政的高次脳機能障害の有無を考える手順について】

下記の図は、高次脳機能障害者や家族が行政の窓口を訪れたときに、“高次脳機能障害”なのかどうかの判断を助けるための道筋を、簡潔に示したフローチャートです。

まず**確認①**では、“どんな症状ですか？”と尋ねます。次いで、**確認②**では、その症状で日常生活に支障をきたしているかどうかを尋ねます。厚生労働省の診断基準では、高次脳機能障害により日常生活や社会生活に制約があることが、診断の上の条件になっています。支障があれば、**確認③**にて、その症状の原因について尋ねます。不明であれば、医療機関の受診を勧めます。原因（病名）がはっきりしていれば、A疾患群かB疾患群かを調べます。基本的には、厚生労働省の診断基準では、A疾患群に属する疾患では、高次脳機能障害は認められません。しかし、**確認④**にあるように、A疾患群であっても、B疾患群を重複している場合があるので、注意しなければいけません。A疾患群であっても、後天的にB疾患群によって、高次脳機能障害を引き起こすことがあるからです。

また、症状の原因がB疾患群と考えられた場合は、高次脳機能障害である可能性が高くなりますが、**確認⑤**にあるように、B疾患群によって確実に高次脳機能障害が表出したという因果関係がきちんとしていないと、B疾患群の数年後に高次脳機能障害が発生したということであると、因果関係は希薄になりますので、このような場合は医療機関にて精査することを勧めます。

“高次脳機能障害”の有無を考える手順

確認①：どんな症状ですか？

- 仕事に集中できない
- すぐに飽きる、気が散る
- 火を消し忘れる
- ミスが多い

注意障害か？

- 昨日のことを覚えていない
- 約束を忘れる
- 新しい事を記憶できない

記憶障害か？

- 整理整頓ができない
- 計画がたてられない
- うまく修正できない
- 手際よく作業できない

遂行機能障害か？

- やる気がない
- 引きこもりがち
- 怒りやすい
- 暴力、暴言
- 感情をコントロールできない
- 子どもっぼい
- 衝動的に行動してしまう

社会的行動障害か？

〈その他の関連障害〉

- 思うように言葉がでない
- 話が理解できない
- 字の読み方を忘れる

失語症か？

- 慣れていた道具の使い方がわからない
- お茶のいれかたがわからない

失行症か？

- 見えているものが何かわからない
- 聞こえている音が何かわからない

失認症か？

- ごはんやおかずの左半分を残す
- 車いすの左側がぶつかる
- 右に寄って歩いてしまう

半側空間無視か？

- 迷子になりやすい
- 自分の家の地図がわからない

地誌的障害か？

確認②

これらの症状により
普段の生活や仕事・
学業などに支障を
きたしていますか？

いいえ

はい

高次脳機能障害があるとは
考えにくい

確認③

なんらかの病気（病名）を
診断されていますか？

はい

いいえ

病院で精査

高次脳機能障害
とは診断されない

A疾患群

- 生まれつきの病気・状態
 - 脳性麻痺
 - 二分脊椎
 - 発達障害
- 精神科の病気
 - うつ病
 - 神経症
 - 統合失調症
 - 人格障害
 - 適応障害

確認④

B疾患群を
経験していますか？

いいえ

はい

B疾患群

- 脳卒中
 - 脳梗塞
 - 脳出血
 - くも膜下出血
- 脳外傷（頭部外傷）
- 低酸素脳症
- 脳腫瘍・脳炎

確認⑤

これらの疾患や外傷の後に
確認①の症状が
出現しましたか？

いいえ

はい

高次脳機能障害とは
考えにくい、病院で精査

高次脳機能障害
がある可能性あり